本指導案は、国立教育政策研究所教育課程センターから評価等に関する資料が公表される前の、編集段階の教師用指導書を元に作成しております。
そのため、本時の目標やめあてについては、供給版の指導書と異なる部分があります。また、評価規準についても編集段階の指導書と同じ記述にしているため、５領域には分けておらず、評価観点のみで、毎時間記入してあります。ご了承ください。

Unit 8　Who is your hero? (pp.74-81)

本単元におけるゴールとなる言語活動
「 自分の人生のヒーローを紹介し合って，よりよく生きる自分のイメージをえがこう！ 」

指導計画　１／８時間　（pp.80-81）
本時目標：（仮）英語と日本語との違いを知り，世界と日本についての理解を深める。
主な表現：He can cook well.　Can he cook well?　She can swim well.　Can she swim well? など
準備：指導者用デジタルブック，ピクチャーディクショナリー（PD），指導者用絵カード

時間	児童の活動	指導者の活動	準備物
導入 5 分	・慣れ親しんだ表現を使って，挨拶したり，体調等について答えたりする。	・慣れ親しんだ表現を使って，挨拶したり，体調等について尋ねたりする。	
	【Small Talk】 ・pp.80-81 を見て，どのような場面があるか指導者とのやり取りを通して，英語を聞いたり話したりする。	・pp.80-81 を見て，どのような場面が示されているか，慣れ親しんできた語彙や表現を用いて確認する。 ※全体でやり取りしながら，個にも尋ねていくことで，学級の実態や個の実態を把握できるようにする。	
展開 30 分	【めあての確認】		
	（仮）英語と日本語との違いを知り，世界と日本についての理解を深めよう。		
	・本時のめあて・ふり返りを行う視点を確認しながら，この時間で自分ができるようにすることや意識することの見通しをもつ。	・本時のめあて・ふり返りを行う視点を確認しながら，この時間で自分ができるようにすることや意識することの見通しをもてるようにする。	
	【Let’s sing】My Hero ・曲を聞き，歌えるところを歌う。	・一度曲を流し，内容について質問する。 ・PD の p.17 の「家族」を見せてもよい。 ・曲を再度流し，歌えるところを歌うように声かけする。	指導者用デジタルブック PD
	【Let’s Chant】 ① Who is your hero? ・チャンツを聞き，言えるところを言う。	・一度チャンツを流し，内容について質問する。 ・チャンツを再度流し，言えるところを言うように励ます。	指導者用デジタルブック
	【ことば探検】 ・紙面に記載されている日本語と英語を	・紙面に記載されている日本語と英語を比較して，気付いたことを右側の空欄	

	比較して，気付いたことを右側の空欄に記入する。 ・気付いたことを発表する。	に記入するように伝える。 ・気付いたことを尋ねる。	
	【日本のすてき】ダイアン吉日さん ・ダイアン吉日さんについての映像や音声を視聴し，おおよその内容を理解する。 ・空欄に答えを記入する。 ・答え合わせをする。	・まず全体を１回流し，その映像や音声を通じて，ダイアン吉日さんがどんな仕事をしているかを聞き，答えを空欄に日本語で記述するよう伝える。 ・ダイアン吉日さんの仕事が漆の落語家（rakugo-ka）であることを確認する。 ・もう一度視聴させ，分かったことを記入するよう伝える。以下のようなヒントを与えてもよい。児童が理解していない様なら，複数回聞かせる。 1）出身地（イングランド） 2）今住んでいるところ（大阪） 3）手に持っているもの（扇子） 【評価】主○（日本生まれのヒーローについて主体的に知ろうとし，世界と日本についての理解を深めようとしている）	指導者用デジタルブック
文字指導 5 分	【Sounds and Letters】 ・Food Jingle を歌う。特に Aa～Cc の文字と音に慣れ親しむ。	・アルファベットチャートで, Aa～Cc の名前と音を確認する。 ・p.96 の Animals Jingle の音声や映像を流す。 ・Food Jingle を歌う。 【評価】＊知（Food Jingle を通じ，Aa～Cc の名前を発音でき, その音とそれを含む語彙に慣れ親しむ）	指導者用デジタルブック
まとめ 5 分	・ふり返りカードに記入する。 ・文化や風習に関する気付きや，言語に関する気付きを発表する。 ・疑問に思ったことや聞きたいことについて質問する。	・児童の発表や気付きをまとめたり，日本の文化との同異を整理したりする。 ・児童が発表した気付きに価値付けする。 ・ふり返りにおいて，もっと深く知りたいことが出た場合は, 次回の Over the Horizon に関連付けるようにする。 ・挨拶をする。	ふり返りカード

Unit 8　Who is your hero? (pp.74-81)

指導計画　２／８時間　（pp.74-75）

本時目標：（仮）日常生活やあこがれの人についてのやり取りのおおよその内容を理解することができるようにする。

主な言語材料：I always/usually/sometimes/never～.　Do you always/usually/sometimes/never～?
What housework do you do? など

準備：指導者用デジタルブック，ピクチャーディクショナリー（PD），ワークシート（WS），指導者用絵カード

時間	児童の活動	指導者の活動	準備物
導入 5 分	・慣れ親しんだ表現を使って，挨拶したり，体調等について答えたりする。	・慣れ親しんだ表現を使って，挨拶したり，体調等について尋ねたりする。	
	【Small Talk】 ・pp.74-75 を見て，どのような場面があるか指導者とのやり取りを通して，英語を聞いたり話したりする。	・pp.74-75 を見て，どのような場面が示されているか，慣れ親しんできた語彙や表現を用いて確認する。 ※全体でやり取りしながら，個にも尋ねていくことで，学級の実態や個の実態を把握できるようにする。	
展開 32 分	【めあての確認】 （仮）日常生活やあこがれの人についてのやり取りのおおよその内容を理解しよう。 ・本時のめあて・ふり返りを行う視点を確認しながら，この時間で自分ができるようにすることや意識することの見通しをもつ。	・本時のめあて・ふり返りを行う視点を確認しながら，この時間で自分ができるようにすることや意識することの見通しをもてるようにする。	
	【Word Link】PD の p.20 一日の生活 ・「一日の生活」の単語を復唱する。	・音声を使って，「一日の生活」の単語を復唱しながら確認できるようにする。	指導者用デジタルブック PD 教師用絵カード
	【Let's try ①】ポインティングゲーム ・言われた PD の単語に触る。 ・指導者の指す絵カードの単語を言う。	・指導者が言った PD の単語に触るよう伝える。 ・指導者が出した絵カードの単語を言うよう伝える。 ・「一日の生活」に加えて，「頻度」の語彙を扱ってもよい。	
	【Let's Chant】 (OP) I always blush my teeth. ・チャンツを聞き，言えるところを言う。	・一度チャンツを流し，内容について質問する。 ・チャンツを再度流し，言えるところを言うように励ます。	指導者用デジタルブック
	【Starting Out】 ・No.1～4 の音声や映像を聞いて，A~E の□に聞こえた順に番号を記入する。 ・答え合わせをする。 ・音声や映像から分かったこと，気付い	・それぞれの場所や登場人物の名前を確認する。 ・No.1～4 の音声を聞かせて，A~D の□に聞こえた順に番号を記入するよう伝える。	指導者用デジタルブック WS

	たことを WS の 1 に記入する。 ・分かったこと，気付いたことを発表する。	・WS を配り，音声や映像を再度流し，分かったことや気付いたことをWSの1に記入することを伝える。必要に応じて，複数回聞かせる。 ・分かったこと，気付いたことなどを尋ねる。 【評価】 ○知（日常生活についてのやり取りで使用される語句や表現に慣れ親しんでいる） ○主（日常生活についてのやり取りを主体的に聞き取り，理解しようとしている）	
文字指導 5 分	【Sounds and Letters】 ・Food Jingle を歌う。特に Dd～Ff の文字と音に慣れ親しむ。	・アルファベットチャートで, Aa～Cc の名前と音を確認する。 ・p.96 の Food Jingle の音声や映像を流す。 ・Food Jingle を歌う。 【評価】＊知（Food Jingle を通じ，Dd～Ff の名前を発音でき, その音とそれを含む語彙に慣れ親しむ）	指導者用デジタルブック
まとめ 3 分	・本時をふり返り，言語に関することで気付いたこと等を発表する。	・本時をふり返り，児童のよかったところをほめる。 ・児童が挙げた気付きに価値付けを行う。 ・挨拶をする。	

Unit 8　Who is your hero? (pp.74-81)

指導計画　３／８時間　（pp.74-75）

本時目標：（仮）日常生活やあこがれの人についてのやり取りのおおよその内容を理解することができるようにする。

主な言語材料：Who is your hero?　My hero is ～.　Why is she/he your hero?　He/she is ~.など

準備：指導者用デジタルブック，ピクチャーディクショナリー（PD），ワークシート（WS）

時間	児童の活動	指導者の活動	準備物
導入 5 分	・慣れ親しんだ表現を使って，挨拶したり，体調等について答えたりする。	・慣れ親しんだ表現を使って，挨拶したり，体調等について尋ねたりする。	
	【Small Talk】 本単元につながる Small Talk として考えられる例 ・休日のスケジュールの話から，手伝っている家事の話へ	・既習表現を使い，本単元で中心となる語彙や表現も入れながら，全体でやり取りしたり，個に尋ねたりする。 ※全体でやり取りしながら，個にも尋ねていくことで，学級の実態や個の実態を把握できるようにする。 ・様子を見て，全体でのやり取りと同じテーマに沿って，ペアでやり取りする。	
展開 32 分	【めあての確認】 （仮）日常生活やあこがれの人についてのやり取りのおおよその内容を理解しよう。 ・本時のめあて・ふり返りを行う視点を確認しながら，この時間で自分ができるようにすることや意識することの見通しをもつ。	・本時のめあて・ふり返りを行う視点を確認しながら，この時間で自分ができるようにすることや意識することの見通しをもてるようにする。	
	【Word Link】PD の p.17 性格など ・「性格など」の単語を復唱する。	・音声を使って，「性格など」の単語を復唱しながら確認できるようにする。	指導者用デジタルブック PD
	【Let's Chant】 ② Why is he your hero? ・チャンツを聞き，言えるところを言う。	・一度チャンツを流し，内容について質問する。 ・チャンツを再度流し，言えるところを言うように励ます。	指導者用デジタルブック
	【Starting Out】 ・No.5～8 の音声や映像を聞いて，A~E の□に聞こえた順に番号を記入する。 ・答え合わせをする。 ・音声や映像から分かったこと，気付いたことを WS の 1 に記入する。 ・分かったこと，気付いたことを発表する。	・それぞれの場所や登場人物の名前を確認する。 ・No.5～8 の音声を聞かせて，E~H の□に聞こえた順に番号を記入するよう伝える。 ・WS を配り，音声や映像を流し，答えを WS の 2 に記入することを伝える。必要に応じて，複数回聞かせる。 ・答え合わせをする。 【評価】	指導者用デジタルブック WS

		○知（あこがれの人についてのやり取りで使用される語句や表現に慣れ親しんでいる） ○主（あこがれの人についてのやり取りを主体的に聞き取り，理解しようとしている）	
	【Let's Watch and Think】 ・音声や映像を視聴し，答えを紙面に書く。 ・答え合わせをする。	・写真を見て，どのようなヒーローかを想像する。 ・音声や映像を視聴し，答えを空欄に記入するよう伝える。必要であれば，複数回聞かせる。 ・答え合わせをする。	指導者用デジタルブック
文字指導 5分	【Sounds and Letters】 ・Food Jingle を歌う。特に Gg～Ii の文字と音に慣れ親しむ。	・アルファベットチャートで，Gg～Ii の名前と音を確認する。 ・p.96 の Food Jingle の音声や映像を流す。 ・Food Jingle を歌う。 【評価】＊知（Food Jingle を通じ，Gg～Ii の名前を発音でき，その音とそれを含む語彙に慣れ親しむ）	指導者用デジタルブック
まとめ 3分	・本時をふり返り，言語に関することで気付いたこと等を発表する。	・本時をふり返り，児童のよかったところをほめる。 ・児童が挙げた気付きに価値付けを行う。 ・挨拶をする。	

Unit 8　Who is your hero? (pp.74-81)

指導計画　４／８時間　（p.76）

本時目標：（仮）日常生活についてクラスで４コーナーゲームをすることができるようにする。

主な言語材料：I always/usually/sometimes/never～.　など

準備：指導者用デジタルブック，ピクチャーディクショナリー（PD）

時間	児童の活動	指導者の活動	準備物
導入 5 分	・慣れ親しんだ表現を使って，挨拶したり，体調等について答えたりする。	・慣れ親しんだ表現を使って，挨拶したり，体調等について尋ねたりする。	
	【Small Talk】 本単元につながる Small Talk として考えられる例 ・手伝っている家事の話から，その頻度の話へ	・既習表現を使い，本単元で中心となる語彙や表現も入れながら，全体でやり取りしたり，個に尋ねたりする。 ※全体でやり取りしながら，個にも尋ねていくことで，学級の実態や個の実態を把握できるようにする。 ・様子を見て，全体でのやり取りと同じテーマに沿って，ペアでやり取りする。	
展開 32 分	【めあての確認】 （仮）日常生活についてクラスで４コーナーゲームをしよう。 ・本時のめあて・ふり返りを行う視点を確認しながら，この時間で自分ができるようにすることや意識することの見通しをもつ。	・本時のめあて・ふり返りを行う視点を確認しながら，この時間で自分ができるようにすることや意識することの見通しをもてるようにする。	
	【Let's sing】My Hero ・曲を聞き，歌えるところを歌う。	・一度曲を流し，内容について質問する。 ・PD の p.17 の「家族」を見せてもよい。 ・曲を再度流し，歌えるところを歌うように声かけする。	指導者用デジタルブック PD
	【Let's Chant】 ① Who is your hero? (OP) I always blush my teeth. ② Why is he your hero? ・チャンツを聞き，言えるところを言う。	・チャンツを流し，言えるところを言うように励ます。	指導者用デジタルブック
	【Word Link】PD の p.20 頻度 ・「頻度」の単語を復唱する。	・音声を使って，「頻度」の単語を復唱しながら確認できるようにする。	PD
	【Let's Listen ①】 ・音声を聞いて，答えを線で結ぶ。 ・答え合わせをする。	・紙面の絵の内容を確認する。 ・音声を聞いて，答えを線で結ぶよう伝える。 ・答え合わせをする。 【評価】 ○知（日常生活や頻度を紹介するやり取りで使用される語句や表現に慣	指導者用デジタルブック

		れ親しんでいる）	
	【Let's try②】 ・デモンストレーションを見て，活動の流れとポイントを理解する。 ・I clean my house.の例文を参照し，自分がどれくらいの頻度で家の掃除をするかを考え，指導者が指示した場所に移動する。 ・それぞれのグループごとに，「頻度」を使った文章を言う。 ・別の日課について，同様の活動を繰り返す。	・AET（または児童）とデモンストレーションを行う。 ・I clean my house.の例文を参照し，自分がどれくらいの頻度で家の掃除をするかを考え，指導者が指示した場所に移動するよう伝える。 ・それぞれのグループごとに，「頻度」を使った文章を言うよう指示する。 ・別の日課について，同様の活動を繰り返すよう指示する。 【評価】○思（日常生活や頻度を紹介するやり取りについて，学習した語句や表現から言いたいことを選択したり付け加えたりして，やり取りをしている）	
文字指導 5分	【Sounds and Letters】 ・Food Jingle を歌う。特に Jj～Ll の文字と音に慣れ親しむ。	・アルファベットチャートで，Jj～Ll の名前と音を確認する。 ・p.96 の Food Jingle の音声や映像を流す。 ・Food Jingle を歌う。 【評価】＊知（Food Jingle を通じ，Jj～Ll の名前を発音でき，その音とそれを含む語彙に慣れ親しむ）	指導者用デジタルブック
まとめ 3分	・本時をふり返り，コミュニケーションの図り方や言語に関することで気付いたこと等を発表する。	・本時をふり返り，児童のよかったところをほめる。 ・児童が挙げた気付きに価値付けを行う。 ・挨拶をする。	

Unit 8　Who is your hero? (pp.74-81)

指導計画　５／８時間　（p.77）

本時目標：（仮）友達と質問し合って，友達のことを紹介することができるようにする。

主な言語材料：Are you good at～ing?　Yes, I am. / No, Im not.　He is good at～ing.　She is always～ to me.
など

準備：指導者用デジタルブック，ピクチャーディクショナリー（PD）

時間	児童の活動	指導者の活動	準備物
導入 5 分	・慣れ親しんだ表現を使って，挨拶したり，体調等について答えたりする。	・慣れ親しんだ表現を使って，挨拶したり，体調等について尋ねたりする。	
	【Small Talk】 本単元につながる Small Talk として考えられる例 ・担任，または AET のできること，得意なことの話から，性格の話へ ・学年の先生のできること，得意なことの話から，性格の話へ	・既習表現を使い，本単元で中心となる語彙や表現も入れながら，全体でやり取りしたり，個に尋ねたりする。 ※全体でやり取りしながら，個にも尋ねていくことで，学級の実態や個の実態を把握できるようにする。 ・様子を見て，全体でのやり取りと同じテーマに沿って，ペアでやり取りする。	指導者用デジタルブック
展開 32 分	【めあての確認】 （仮）友達と質問し合って，友達のことを紹介しよう。 ・本時のめあて・ふり返りを行う視点を確認しながら，この時間で自分ができるようにすることや意識することの見通しをもつ。	・本時のめあて・ふり返りを行う視点を確認しながら，この時間で自分ができるようにすることや意識することの見通しをもてるようにする。	
	【Let’s try③】 ・デモンストレーションを見て，活動の流れとポイントを理解する。 ・緑色の絵の語句を復唱しながら，内容を確認する。 ・ペアでやり取りをする。	・AET（または児童）とモデル会話を行う。 ・緑色の絵の語句を復唱しながら，内容を確認できるようにする。 ・ペアでやり取りをするよう指示する。 【評価】◎知（日常生活や友達のことを紹介するやり取りで使用される語句や表現が身に付いている）	
	【Let’s try④】 ・デモンストレーションを見て，活動の流れとポイントを理解する。 ・【Let’s try③】の黄色の絵の語彙を復唱しながら，内容を確認する。 ・【Let’s try③】で行ったペアとは別のペアでやり取りをする。	・AET（または児童）とデモンストレーションを行う。 ・黄色の絵の語句を復唱しながら，内容を確認できるようにする。 ・【Let’s try③】で行ったペアとは別のペアでやり取りをするよう伝える。 【評価】 ◎知（日常生活や友達のことを紹介するやり取りで使用される語句や表	

		現が身に付いている） ○思（日常生活や友達のことを紹介するやり取りについて，学習した語句や表現から言いたいことを選択したり付け加えたりして，やり取りをしている）	
	【Let's Listen ②】 ・指導者の会話から，指導者のヒーローの名前やそれに関する分かったことを紙面に記入する。 ・答え合わせをする。	・指導者にとってのヒーローについて，児童からの問いに答える。 ・答え合わせをする。 ※学年の先生等に協力を依頼し，児童が関心を示す人のヒーローを扱ってもよい。	
文字指導 5分	【Sounds and Letters】 ・Food Jingle を歌う。特に Mm～Oo の文字と音に慣れ親しむ。	・アルファベットチャートで，Mm～Oo の名前と音を確認する。 ・p.96 の Food Jingle の音声や映像を流す。 ・Food Jingle を歌う。 【評価】＊知（Food Jingle を通じ，Mm～Oo の名前を発音でき，その音とそれを含む語彙に慣れ親しむ）	指導者用デジタルブック
まとめ 3分	・本時をふり返り，コミュニケーションの図り方や言語に関することで気付いたこと等を発表する。	・本時をふり返り，児童のよかったところをほめる。 ・児童が挙げた気付きに価値付けを行う。 ・挨拶をする。	

Unit 8　Who is your hero? (pp.74-81)

指導計画　６／８時間　（pp.80-81）　**国際理解教室**

本時目標：（仮）日本生まれのヒーローについて考え，世界と日本についての理解を深める。

主な言語材料：Who is your Japanese hero?　My Japanese hero is Naomi.　など

準備：指導者用デジタルブック，ふり返りカード

時間	児童の活動	指導者の活動	準備物
導入 5 分	・慣れ親しんだ表現を使って，挨拶したり，体調等について答えたりする。	・慣れ親しんだ表現を使って，挨拶したり，体調等について尋ねたりする。	
	【Small Talk】 本単元につながる Small Talk として考えられる例 ・海外に広まっているアニメやマンガの話から，それらの登場人物の話へ	・既習表現を使い，本単元で中心となる語彙や表現も入れながら，全体でやり取りしたり，個に尋ねたりする。 ※全体でやり取りしながら，個にも尋ねていくことで，学級の実態や個の実態を把握できるようにする。 ・様子を見て，全体でのやり取りと同じテーマに沿って，ペアでやり取りする。	
展開 30 分	【めあての確認】 （仮）日本生まれのヒーローについて考え，世界と日本についての理解を深めよう。 ・本時のめあて・ふり返りを行う視点を確認しながら，この時間で自分ができるようにすることや意識することの見通しをもつ。	・本時のめあて・ふり返りを行う視点を確認しながら，この時間で自分ができるようにすることや意識することの見通しをもてるようにする。	
	【Do you know?】 ・海外で活躍している日本人やアニメ・マンガについて考え，発表する。 ・クイズの答えを考え，空欄に記入する。 ・答え合わせをする。 ・IUI の母国に広まっている日本人や，有名な人物に関する情報を聞く。 ・IUI の母国の文化や風習にについて，日本と比較しながら，共通点や相違点を見出す。	・海外で活躍している日本人やアニメ・マンガについて尋ねる。 ・答え合わせをする。 ・IUI の国で有名な，日本生まれのヒーローについての話をする。 ・IUI が示す情報や学習のテーマを Over the Horizon と関連付くようにする。 【評価】○主（海外で活躍したり，広く知れ渡っていたりする日本生まれのヒーローについて，主体的に知ろうとし，世界と日本についての理解を深めようとしている。）	
	【Q&A】 ・疑問に思ったことや聞きたいことについて質問する。	・必要に応じて，児童と IUI の意思疎通をサポートする。	

	【Challenge】 ・デモンストレーションを見て，活動の流れとポイントを理解する。 ［会話モデル例］ C: Hello. I: Hello. Who is your Japanese hero? C: My Japanese hero is Naomi. I: Who is Naomi? C: She is a tennis player. She can play tennis well. I: Why is she your hero? C: She is a world champion. I: Sounds nice. C: Thank you. (C= 児童， I= IUI)	・IUI（または，児童と）デモンストレーションを行う。 ・児童の実態をふまえて設定した，コミュニケーションを図る上で育成を目指す姿について共通理解を図る。育成を目指す姿と，そうでない姿を，デモンストレーションを通して比較できるようにする。 ・困り感のある児童に対し，個別に支援する。 【評価】 ◎知（日本生まれのヒーローについて紹介するやり取りで使用される語句や表現が身に付いている） ○主（日本生まれのヒーローについて紹介する活動を通じて，その人の名前や職業，できることなどについて，他者に配慮しながら主体的に伝え合おうとしている）	
	【中間のふり返り】 ・本時のめあてや，ふり返る際の視点に沿って，活動をふり返る。	・本時のめあてや，ふり返る際の視点に沿って確認する。 ・活動の前半をふり返り，めあてに沿って活動できていた児童の具体の姿を取りあげ，ほめる。	
	【Challenge】 ・中間のふり返りを生かし，同様に活動を続ける。	・中間のふり返りを生かし，活動を続けるよう指示する。	
文字指導 5 分	【Sounds and Letters】 ・Food Jingle を歌う。特に Pp～Ss の文字と音に慣れ親しむ。	・アルファベットチャートで, Pp～Ss の名前と音を確認する。 ・p.96 の Food Jingle の音声や映像を流す。 ・Food Jingle を歌う。 【評価】＊知（Food Jingle を通じ，Pp～Ss の名前を発音でき, その音とそれを含む語彙に慣れ親しむ）	指導者用デジタルブック
まとめ 5 分	・ふり返りカードに記入する。 ・文化や風習に関する気付きや，言語に関する気付きを発表する。 ・疑問に思ったことや聞きたいことについて質問する。	・児童の発表や気付きをまとめたり，日本の文化との同異を整理したりする。 ・児童が発表した気付きに価値付けする。 ・挨拶をする。	ふり返りカード

Unit 8　Who is your hero? (pp.74-81)

追加　１時間（道徳との関連付け）　「新訂　新しい道徳」　東京書籍

主題名	[生きる喜び]
内容項目	(D よりよく生きる喜び)
教材名	「15. そういうものにわたしはなりたい～宮沢賢治」
ねらい	人間の強さや気高さに触れ，人間としてよりよく生きることの喜びに気付く心情を育てる。 ※参照；『年間指導計画作成資料 』

【 英語科の授業と関連付けるにあたって 】

この単元を通して，よりよく生きることの喜びに気付き，自分の生き方のモデルとする人物を見つけることができるようにしたい。短絡的に憧れの人を紹介するのではなく，慎重に自分の生き方のモデルとする人物を選び，紹介する言語活動を目指す。そのために，ヒーローとして取りあげる人物が出した結果だけでなく，むしろ，どのような信条で，どのように毎日を過ごしているか等に重きを置いて選択できるような手立てを設ける必要がある。

本案では，三つの手立てを設けて指導にあたる。道徳と関連付けた指導の展開，単元のゴールとなる言語活動の見通しをもたせた上での，伝記を中心とした並行読書，そしてもう一つは，ICT を活用した調べ学習である。道徳と関連付けることで，生き方に着目する視点をもたせたい。その上で，並行読書や調べ学習を通して，より多くの人物の生き方にふれることで，生き方のモデルとしたいと共感できる人物を選べるようにする。

Unit 8　Who is your hero? (pp.74-81)

指導計画　７／８時間　（p.78）

本時目標：（仮）ヒーロー紹介カードを作り，その理由を尋ね合うことができるようにする。

主な言語材料：Who is your hero?　My hero is ～.　Why is she your hero? など

準備：指導者用デジタルブック，巻末コミュニケーションカード，タブレット，ふり返りシート

時間	児童の活動	指導者の活動	準備物
導入 5 分	・慣れ親しんだ表現を使って，挨拶したり，体調等について答えたりする。	・慣れ親しんだ表現を使って，挨拶したり，体調等について尋ねたりする。	
	【Small Talk】 本単元につながる Small Talk として考えられる例 ・指導者の人生におけるヒーローと，その理由 ・AET の人生におけるヒーローと，その理由	・既習表現を使い，本単元で中心となる語彙や表現も入れながら，全体でやり取りしたり，個に尋ねたりする。 ※全体でやり取りしながら，個にも尋ねていくことで，学級の実態や個の実態を把握できるようにする。 ・様子を見て，全体でのやり取りと同じテーマに沿って，ペアでやり取りする。	
展開 32 分	【めあての確認】 （仮）ヒーロー紹介カードを作り，その理由を尋ね合おう。 ・本時のめあて・ふり返りを行う視点を確認しながら，この時間で自分ができるようにすることや意識することの見通しをもつ。	・本時のめあて・ふり返りを行う視点を確認しながら，この時間で自分ができるようにすることや意識することの見通しをもてるようにする。	
	【Step 1】 ・モデル映像，または AET と指導者のモデル会話を聞き，Step3 の活動の見通しをもつ。 ・紹介する身近な人を決めて，巻末の「ヒーロー紹介カード」にその人物の絵を描く。 ・自分にとってのヒーローについて，ペアで尋ね合う。	・モデル映像を見せたり，AET とデモンストレーションを行ったりしながら，Step3 の活動内容を確認させる。 ・紹介する人を決めて，巻末コミュニケーションカード（ヒーロー紹介カード）を切って，絵を描くよう伝える。 ※タブレットで資料を作成してもよい。 ・ペアでたずね合うよう伝える。 【評価】○思（カードを使って自分にとってのヒーローを紹介する活動を通じて，その人が誰かや職業，できることなどについて，学習した語句や表現から言いたいことを選択したり付け加えたりして，発表している）	指導者用デジタルブック 巻末コミュニケーションカード タブレット

	【Step 2】 ・【Step 1】で活用した表現を生かして，自分にとってのヒーローと，その理由を，【Step 1】で行ったペアとは別のペアで伝え合う。	・AET（または児童）とデモンストレーションを行う。 ・児童の実態をふまえて設定した，コミュニケーションを図る上で育成を目指す姿について共通理解を図る。育成を目指す姿と，そうでない姿を，デモンストレーションを通して比較できるようにする。 ・【Step 1】で活用した表現を生かして，自分にとってのヒーローと，その理由を，【Step 1】で行ったペアとは別のペアで伝え合うよう指示する。 ・困り感のある児童に対し，個別に支援する。 ・ペアでたずね合うよう伝える。 【評価】○思（カードを使って自分にとってのヒーローを紹介する活動を通じて，その人が誰かや職業，できることなどについて，学習した語句や表現から言いたいことを選択したり付け加えたりして，発表している）	
	【中間のふり返り】 ・本時のめあてや，ふり返る際の視点に沿って，活動をふり返る。	・本時のめあてや，ふり返る際の視点に沿って確認する。 ・活動の前半をふり返り，めあてに沿って活動できていた児童の具体の姿を取りあげ，ほめる。	
	【Step 2】 ・中間のふり返りを生かし，同様に活動を続ける。	・中間のふり返りを生かし，活動を続けるよう指示する。	タブレット
文字指導 5分	【Sounds and Letters】 ・Food Jingle を歌う。特に Tt～Ww の文字と音に慣れ親しむ。	・アルファベットチャートで，Tt～Ww の名前と音を確認する。 ・p.96 の Food Jingle の音声や映像を流す。 ・Food Jingle を歌う。 【評価】＊知（Food Jingle を通じ，Tt～Ww の名前を発音でき，その音とそれを含む語彙に慣れ親しむ）	指導者用デジタルブック
まとめ 5分	・ふり返りカードに記入する。 ・コミュニケーションの図り方に関する気付きや，言語に関することで気付いたこと等を発表する。	・本時をふり返り，児童のよかったところをほめる。 ・「聞くときに工夫したこと」「話すときに工夫したこと」を記入するよう声かけする。 ・児童が発表した気付きに価値付けする。 ・挨拶をする。	ふり返りカード

Unit 8　Who is your hero? (pp.74-81)

指導計画　８／８時間　（p.79）

本時目標：（仮）自分の人生におけるヒーローや，その理由について伝え合うことができるようにする。

主な言語材料：Who is your hero?　My hero is ～.　Why is she your hero?　など

準備：指導者用デジタルブック，巻末コミュニケーションカード，タブレット，ふり返りシート

<table>
<tr><th>時間</th><th>児童の活動</th><th>指導者の活動</th><th>準備物</th></tr>
<tr><td rowspan="2">導入
5 分</td><td>・慣れ親しんだ表現を使って，挨拶したり，体調等について答えたりする。</td><td>・慣れ親しんだ表現を使って，挨拶したり，体調等について尋ねたりする。</td><td></td></tr>
<tr><td>【Small Talk】
本単元につながる Small Talk として考えられる例
・学年の先生の人生におけるヒーローと，その理由</td><td>・既習表現を使い，本単元で中心となる語彙や表現も入れながら，全体でやり取りしたり，個に尋ねたりする。
※全体でやり取りしながら，個にも尋ねていくことで，学級の実態や個の実態を把握できるようにする。
・様子を見て，全体でのやり取りと同じテーマに沿って，ペアでやり取りする。</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">展開
30 分</td><td colspan="2">【めあての確認】
（仮）自分の人生におけるヒーローや，その理由について伝え合う。</td><td rowspan="2"></td></tr>
<tr><td>・本時のめあて・ふり返りを行う視点を確認しながら，この時間で自分ができるようにすることや意識することの見通しをもつ。</td><td>・本時のめあて・ふり返りを行う視点を確認しながら，この時間で自分ができるようにすることや意識することの見通しをもてるようにする。</td></tr>
</table>

	【Step 3】 ・デモンストレーションを見て，活動の流れとポイントを理解する。 ・巻末コミュニケーションカード（または，タブレット）で紹介する資料を示しながら，自分にとってのヒーローを伝え合う。 ・使用したカードを p.82 に貼る。 ［会話モデル例］ C: Hello. A: Hello. Who is your hero? A: My hero is Shina. A: Who is Shina? C: She is a picture book writer. A: Why is she your hero? C: She is good at drawing pictures. And, she is good at making stories. I enjoy reading her books everyday. A: Sounds nice. C: Thank you. (C= 児童， A= AET) ※英語で伝えきれない思いがある場合は，やり取りの後に日本語で伝える。	・AET（または，児童）とデモンストレーションを行う。 ・児童の実態をふまえて設定した，コミュニケーションを図る上で育成を目指す姿について共通理解を図る。育成を目指す姿と，そうでない姿を，デモンストレーションを通して比較できるようにする。 ・困り感のある児童に対し，個別に支援する。 ・使用したカードを p.82 に貼るよう伝える。 ※英語で伝えきれない思いがある場合は，やり取りの後に日本語で伝えてもよいと声かけする。 【評価】 ◎思（カードを使って自分にとってのヒーローを紹介する活動を通じて，その人の名前や職業，できることなどについて，学習した語句や表現から言いたいことを選択したり付け加えたりして，主体的に伝え合っている） ○主（カードを使い，自分にとってのヒーローを紹介する活動を通じて，他者に配慮しながら主体的に伝え合おうとしている）	巻末コミュニケーションカード タブレット
	【中間のふり返り】 ・本時のめあてや，ふり返る際の視点に沿って，活動をふり返る。	・本時のめあてや，ふり返る際の視点に沿って確認する。 ・活動の前半をふり返り，めあてに沿って活動できていた児童の具体の姿を取りあげ，ほめる。	
	【Step 3】 ・中間のふり返りを生かし，同様に活動を続ける。	・中間のふり返りを生かし，活動を続けるよう指示する。	巻末コミュニケーションカード タブレット
文字指導 5 分	【Sounds and Letters】 ・Food Jingle を歌う。特に Xx～Zz の文字と音に慣れ親しむ。	・アルファベットチャートで, Xx～Zz の名前と音を確認する。 ・p.96 の Food Jingle の音声や映像を流す。 ・Food Jingle を歌う。 【評価】＊知（Food Jingle を通じ，Xx	指導者用デジタルブック

		～Zz の名前を発音でき，その音とそれを含む語彙に慣れ親しむ）	
まとめ 5 分	・ふり返りカードに記入する。 ・コミュニケーションの図り方に関する気付きや，言語に関することで気付いたこと等を発表する。 ・友達とのやり取りを通して，自分の生き方のモデルとしたいと思った人の名前と，その理由を発表し，共有する。	・本時をふり返り，児童のよかったところをほめる。 ・「聞くときに工夫したこと」「話すときに工夫したこと」を記入するよう声かけする。 ・友達とのやり取りを通して，自分の生き方のモデルとしたいと思った人の名前と，その理由を発表し，共有するよう伝える。 ・児童が発表した気付きに価値付けする。 ・挨拶をする。	ふり返りカード